

# Active!mail

導入数No.1! ビジネスからアカデミックまで幅広く対応  
「現場の声から生まれた」ビジネスWebメールソリューション



\*[ITR Market View：メール・セキュリティ市場 2014] より



## ■主な機能

### メール受信

- 画面のペイン切り替え (3/2/1ペイン)
- ボタン/プルダウンメニューの任意配置
- ボタンの表示切り替え  
(アイコンのみ、テキストのみ、両者併記)
- 新着メール自動確認機能
- メールソート
- 絞り込み表示
- 返信/全員に返信
- 転送/一括転送、フラグを付ける
- メールの自動振り分け
- フィルタリング転送
- 迷惑メール登録
- IMAP フォルダの階層表示
- 階層フォルダの作成/編集/削除
- POP 受信
- メールの詳細検索
- 開封確認通知メールを送信
- 共有メールボックスの参照

ほか

### アドレス帳

アドレス帳は利用者の一人ひとりが登録して利用する「個人アドレス帳」と、システム全体で共有する「共有アドレス帳」を利用することができ、複数のアドレス帳をシームレスに扱うために階層表示画面を採用しています。個人アドレス帳内にはフォルダのほかに、全てのアドレス帳に登録されているデータを組み合わせで「グループ」登録をすることが可能です。

### 便利な機能

- 情報ウィンドウ
- フォルダ管理
- プロフィール管理
- POP受信
- 署名管理
- メールの自動振り分け (フィルタリング)
- メールの条件付き自動転送 (フィルタリング転送)
- 迷惑メール管理
- 迷惑メールフィルター
- 定型文とマクロ
- 宛先の入力補完機能 (オートコンプリート)
- 開封確認通知
- メール絞り込み機能
- 受信画面からのフォルダの作成・削除
- 前回の編集内容を復元
- スケジューラーからのメール作成
- カラーバレットによる自由なインターフェースカラーの設定

ほか

### モバイル機能

- メール送受信
- メール検索
- 迷惑メール登録
- アドレス帳の追加/修正/削除
- フォルダの追加/修正/削除
- 下書き保存
- ファイルの添付
- 添付ファイルのダウンロード
- 添付ファイルの内容プレビュー表示 (\*) (Word, Excel, PPT, PDF など)

ほか

### メール作成

- HTML メール作成
- 定型文とマクロ
- メールテンプレート機能
- 宛先の入力補完機能 (オートコンプリート)
- 送信履歴からの宛先選択 (イージーアドレス)
- アドレス入力 (共有アドレス帳、個人アドレス帳、グループ)
- ドラッグ&ドロップでのファイル添付機能 (\*)
- 宛先カートによるアドレス帳からのメール作成
- スケジューラーからのメール作成
- プロフィールの入力/編集/選択挿入
- 重要度の設定 (5段階)
- 開封確認通知機能
- 誤送信防止機能 (強制プレビュー、外部宛でのハイライト表示、宛先や添付ファイルの確認機能)
- 下書き保存、直前の編集内容を復元

ほか

(\*)アップロードできるのはファイルのみになります (フォルダはアップロードできません)。この機能は一部の古いバージョンブラウザでは利用できません。

### スケジューラー

個人向け予定管理ツールである「個人スケジュール」と、システム管理者がユーザー全員に対して登録する「共有スケジュール」表示機能を備えています。「月間」、「週間」、「日間」の3種類のビューを用意し、期間ごとの一覧性・視認性を高めています。

### セキュリティ機能

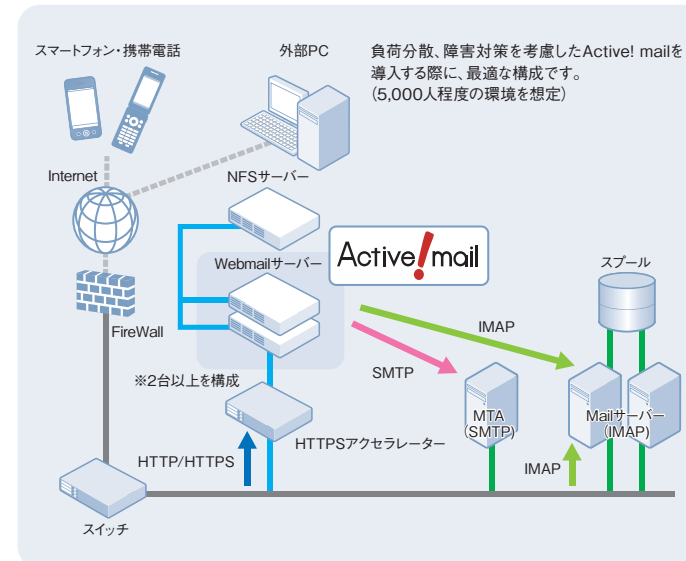
- 誤送信防止機能 (宛先と添付ファイルの確認機能)
- メールデータをクライアント側に持たせないことで情報漏えいを防止
- パスワード有効期限の設定
- パスワード保存の許可の設定
- セッション有効時間の設定
- 迷惑メール対策
- 添付ファイルほかのアップロード/ダウンロードの管理者による制御
- 管理者権限の2階層設定
- 監査用のメールアドレス設定

ほか

### 管理者画面

Active! mailではアプリケーションに関するほとんどの設定変更が「管理者インターフェース」を使用して、ブラウザから簡単に行なうことができます。使用するドメインごとに詳細なルール設定を行なうことも可能で、「アクティビティ設定」では主要機能を使用する/しないの選択を簡単に設定することが可能です。また、「管理者」のほかにドメイン設定の一部と「運用管理」メニューのみ使用可能な「運用管理者」を設定することも可能です。

## ■システム構成図



お問い合わせ



株式会社クオリティア (QUALITIA CO., LTD.)

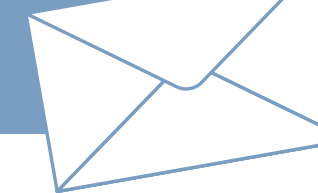
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-11-10

TEL : 03-5623-2530 FAX : 03-5623-2535

URL : <http://www.qualitia.co.jp>

Email : [active@qualitia.co.jp](mailto:active@qualitia.co.jp)

- スムーズ** “違和感のない、いつもの操作性
- スマート** ビジネスユースに耐えうる 多彩な機能を搭載
- セキュア** 情報漏えいを防ぐ 万全のセキュリティ対策
- モバイル** ビジネスの場所を選ばない 便利なモバイル機能が充実



## クライアントメーラーを凌駕する生産性 使いやすさ、セキュリティ、コスト面で圧倒的なパフォーマンス

Active! mailは、企業/教育機関/官公庁で2,250法人、累計1,100万アカウントの導入実績を誇る、国内シェアNo.1(\*)の国産Webメールソリューションです。利用シーンを問わないWebメール特有のメリットに加え、ビジネスユースの観点から機能・操作性・パフォーマンス・セキュリティを大幅に強化。クライアントメーラーを凌駕する高い生産性を実現します。また、導入のしやすさ、運用負荷の低さ、導入コストにおいても大きなアドバンテージを持ち、スピード・コストパフォーマンス重視の厳しい経営環境の中においても、企業の標準メールシステムとして、また大学の全学導入などにも積極採用されています。まさに、時代が求めるメールソリューションなのです。

(\*)ITR Market view: メール・セキュリティ市場2014より

### 2013 年 国内 Web メール市場(\*)



\*[ITR Market View: メール・セキュリティ市場 2014] より

## 「だから、Active!mail が選ばれています！」

### スムーズ “違和感のない、いつもの操作性”

#### AjaxやDHTMLを採用し、スムーズな操作を実現

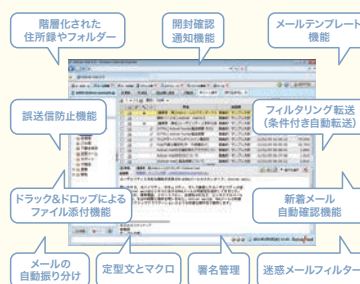
AjaxやDHTMLを用いた開発により、各種クリックやドラッグ&ドロップなどデスクトップアプリケーション同様の操作および高速なレスポンスを実現しています。また見た目に関しても、一般的なクライアントメーラーに準拠したインターフェースを採用。受信画面のレイアウトや色、ビューサイズの変更、フォルダーの階層表示などもユーザーが任意に行なうことができ、違和感のない移行が行なえます。



### スマート ビジネスユースに耐えうる 多彩な機能を搭載

#### 実際に使用されるお客様のご要望から機能強化

これまで実際にビジネスで使用しているお客様のご要望をもとに機能を拡充してきました。そのため、共有アドレス帳、誤送信防止機能、開封確認通知、フィルタリング転送(条件付き自動転送)、署名の複数使用、定型文とマクロ、メールテンプレート機能など、“ビジネスの現場、が求める高度な機能が満載です。検索もスムーズで、必要なメールをストレスなく探し出すことができます。



### セキュア 情報漏えいを防ぐ 万全のセキュリティ対策

#### セキュリティポリシーに則った運用が可能

メールおよびアドレス帳データをPC内に残さないため、万一のノートPCの紛失や盗難時にも、大事な情報の漏えいを防ぐことができます。加えてSSL暗号化の利用により、悪意のあるHTMLメールや、なりすましの対策も万全です。誤送信防止機能により、誤送信による漏えいも防ぐことができます。また、ユーザーの操作制限、パスワード有効期限の設定など、お客様のポリシーに合わせたセキュリティ対策も可能です。



### モバイル ビジネスの場所を選ばない 便利なモバイル機能が充実

#### スマートフォン専用インターフェースを標準実装

各種スマートフォンや携帯電話からの利用が可能のため、ビジネスにおけるタイムロスを最小限に抑えることができます。スマートフォン版はHTML5を用いて開発した専用インターフェースを標準実装。タッチパネルのタップ、ダブルタップ、ホールドなどで簡単に操作することができます。



## 導入が加速するWebメール! そのメリットとは?

クライアントメーラーを超える  
**ユーザビリティ&機能**

ビジネスのスピードを加速する  
**モバイル環境**での利用

クライアントPCに依存しない  
**強固なセキュリティ**

一元管理による  
**管理・運用負荷の軽減**

ライセンス・保守・教育などの  
**コスト低減**

**独自ドメイン**でメール  
アカウントの利用が可能

## 便利な機能/特長

### 日英中韓の多言語に標準対応

グローバル化が進む中、ビジネスをはじめ、あらゆるシーンで多言語環境はもはや必須。Active! mailでは、UTF-8による多言語でのメール送受信に加え、操作画面の日英中韓の切り替えに標準対応。グローバルな企業、教育機関の現場でのスムーズなコミュニケーションを加速します。



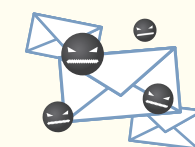
### 大容量ファイルや機密ファイルも安心

添付ファイルはいまや悩みの種。年々増加する容量に加え、メールの盗聴や誤送信による情報漏えいなどセキュリティ上の問題も存在します。Active! mailでは、ファイルを添付せずにファイルのやり取りを可能にする機能をオプション提供。多様なセキュリティ設定も可能ですので、意図しない相手の受け取りを阻止します。



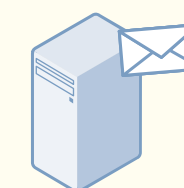
### より強固な迷惑メール対策が可能

効果の高い学習型のページアンフィルターを標準搭載。加えて、ゲートウェイ型迷惑メール対策ソフトウェアActive! hunterと連携することで、より強固な迷惑メール対策が可能です。サーバー上に隔離されたメールをユーザー自身で確認することもできるので、万一の誤判定でも、大切なメールを失うことはありません。

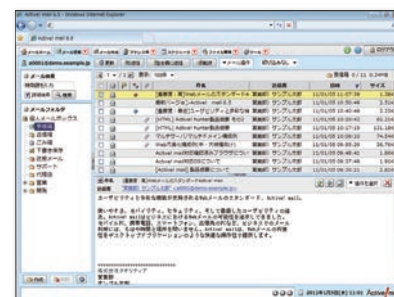


### 既存のメールシステムをそのまま活用

システム構築はWebサーバーへのインストールのみのため、既存のメールシステムへの影響はほとんどなく、安全かつスピーディな構築が可能です。また、多様なプラットフォーム、メールサービスに対応しているので、環境の異なる地域や支社などへの導入も可能で、グローバルな全社展開もスムーズです。

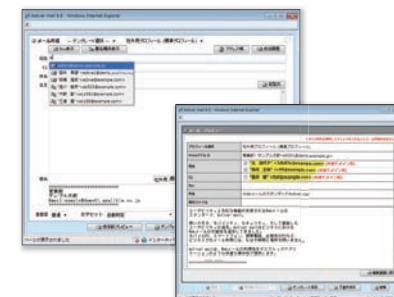


### ■メール受信画面



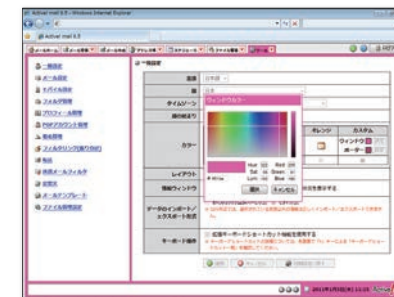
くせのない使いやすいインターフェースを用意。3ペイン/2ペイン/1ペインの選択も可能。メール受信画面のボタン/プルダウンメニューの配置なども任意にデザインできます。

### ■メール作成画面



宛先入力支援、開封確認通知、署名の複数使用、定型文、マクロ、テンプレート、誤送信防止機能など、ビジネスでのメール送信に便利な機能を多数搭載しています。

### ■利用環境の設定



レイアウトやカラー、署名、モバイル、フォルダー階層、テンプレートなど、ユーザーごとの設定が可能。設定画面はシンプルかつ、どなたでも簡単にできるように工夫されています。

## 文教関連(順不同・敬称略)

## 国公立大学

東京大学  
筑波大学  
一橋大学  
首都大学東京  
電気通信大学  
東京外国語大学  
横浜国立大学  
横浜国立大学  
千葉大学  
埼玉大学  
茨城大学  
宇都宮大学  
高崎経済大学  
愛知県立大学  
愛知県立芸術大学  
名古屋工業大学  
三重大学  
豊橋技術科学大学  
岐阜大学  
岐阜県立看護大学

京都大学  
大阪大学  
神戸大学  
大阪教育大学  
京都市立大学  
京都教育大学  
兵庫県立大学  
滋賀県立大学  
滋賀医科大学  
奈良教育大学  
奈良女子大学  
和歌山大学  
静岡大学  
静岡県立大学  
静岡文化芸術大学  
金沢大学  
富山大学  
富山県立大学  
福井県立大学

九州大学  
北九州市立大学  
福岡県立大学  
熊本県立大学  
佐賀大学  
宮崎県立看護大学  
広島大学  
県立広島大学  
広島市立大学  
福山市立大学  
尾道市立大学  
下関市立大学  
岡山県立大学  
鳥取大学  
愛媛大学  
香川大学  
高知大学  
島根県立大学

北海道大学  
札幌医科大学  
北見工業大学  
小樽商科大学  
帯広畜産大学  
名寄市立大学  
弘前大学  
青森県立保健大学  
岩手県立大学  
東北大学  
宮城教育大学  
岩手大学  
山形大学  
会津大学  
福島県立医科大学  
千葉県立保健医療大学

## 私立大学

上智大学  
法政大学  
中央大学  
北里大学  
工学院大学  
東京医科大学  
昭和薬科大学  
杉野服飾大学  
駒沢女子大学  
東京聖栄大学  
帝京科学大学  
東京造形大学  
日本大学  
日本社会事業大学  
神奈川工科大学  
昭和音楽大学  
東洋英和女学院大学  
鎌倉女子大学  
東京国際大学  
千葉経済大学  
千葉工業大学  
千葉商科大学  
東京情報大学  
東洋学園大学  
麗澤大学  
明海大学  
城西国際大学  
聖徳大学  
武蔵大学

同志社大学  
関西大学  
近畿大学  
追手門学院大学  
大阪芸術大学  
大阪商業大学  
大阪成蹊大学  
摂南大学  
京都外国語大学  
京都産業大学  
京都女子大学  
京都精華大学  
京都橘大学  
京都薬科大学  
京都ノートルダム女子大学  
花園大学  
関西国際大学  
甲南大学  
甲南女子大学  
神戸芸術工科大学  
神戸国際大学  
神戸女学院大学  
神戸松蔭女子学院大学  
園田学園女子大学  
天理大学  
鈴鹿医療科学大学  
びわこ成蹊スポーツ大学  
自治医科大学  
日本映画大学  
日本工業大学

九州産業大学  
九州女子大学  
久留米大学  
久留米工業大学  
九州共立大学  
筑紫女学院大学  
福岡国際大学  
産業医科大学  
南九州大学  
長崎純心大学  
愛知大学  
愛知工業大学  
相山女学院大学  
豊田工業大学  
中部大学  
東海学園大学  
名古屋学院大学  
南山大学  
名城大学  
中部学院大学  
中京大学  
中京学院大学  
山梨学院大学  
西武文理大学  
獨協医科大学  
女子栄養大学  
茨城キリスト教大学  
つくば国際大学  
常磐大学  
大同大学

札幌大学  
札幌学院大学  
藤女子大学  
北星学園大学  
北海道情報大学  
東北工業大学  
東北芸術工科大学  
東北文教大学  
金沢医科大学  
金沢工業大学  
金沢星稜大学  
北陸大学  
新潟国際情報大学  
比治山大学  
広島経済大学  
広島工業大学  
広島国際大学  
広島女学院大学  
福山大学  
岡山理科大学  
徳山大学  
松山大学  
高松大学  
徳島文理大学  
上智短期大学  
大阪女子短期大学  
高田短期大学  
精華女子短期大学

## その他文教関係

大妻学院  
岩崎学園  
梅光学院  
城南学園  
城星学園  
浅井学園  
聖心女子学院  
麻生塾  
爽青会  
日本デザイナー学院

九州大学病院  
千葉大学医学部付属病院  
東邦高等学校  
同志社香里高等学校  
岡山学芸館高等学校  
京都府立京都すばる高等学校  
大阪電気通信大学高等学校  
柏市立柏高等学校  
工学院大学附属中学高等学校  
忍野小学校  
神奈川県立東部総合職業技術校  
中部職業能力開発促進センター

石川工業高等専門学校  
岐阜工業高等専門学校  
福島工業高等専門学校  
明石工業高等専門学校  
高知工業高等専門学校  
北九州工業高等専門学校  
沖縄工業高等専門学校  
大阪府立工業高等専門学校  
神戸市立工業高等専門学校  
北陸職業能力開発大学校  
四国職業能力開発大学校

関東職業能力開発大学校  
近畿職業能力開発大学校  
九州職業能力開発大学校  
東海職業能力開発大学校  
東北職業能力開発大学校  
千葉職業能力開発短期大学校  
新潟職業能力開発短期大学校  
浜松職業能力開発短期大学校  
青森職業能力開発短期大学校  
秋田職業能力開発短期大学校  
石川職業能力開発短期大学校  
福山職業能力開発短期大学校

他多数

累計1,100万アカウント以上(2014年9月現在)

## 官公庁・一般企業(順不同・敬称略)

中央官庁  
愛媛県庁  
茨城県教育庁  
愛媛県教育委員会  
広島県教育委員会  
熊本県教育委員会  
板橋区教育委員会  
名古屋市教育センター  
東かがわ市教育委員会  
枚方市  
町田市  
高崎市  
東村山市  
笠間市  
南伊勢町  
敦賀市  
高知市  
三重県多気町  
福岡県志免町  
北九州学術研究都市  
海外職業能力訓練協会  
国立特殊教育総合研究所  
国際協力事業団 沖縄国際センター  
東京都医学研究機構  
都市防災研究所  
防災科学技術研究所  
経済産業研究所  
三菱化学生命科学研究所  
海洋科学技術センター  
日本国際交流センター  
日本インターネット医療協議会  
濱野生命科学研究所財団  
日本宇宙フォーラム  
癌研究会  
総合地球環境学研究所  
日本貿易振興機構 アジア経済研究所  
島田市市民病院  
水谷精器工業  
栗原工業  
ハクキューサービス  
東日本計算センター  
GBR  
東京計器  
グラフィック  
タカラトミー

三越  
京セラ  
伊藤忠建機  
日立電線  
みずほ信託銀行  
資産管理サービス信託銀行  
東京海上キャピタル  
日本たばこ産業  
ハウス食品  
不二製油  
大塚製薬  
持田製薬  
第一工業製薬  
日本テレビ  
中国放送  
岡山放送  
横浜テレビ局  
時事通信社  
東北新社  
エム・ティー・ヴィー・ジャパン  
大日本スクリーン製造  
エス・バイ・エル  
オークネット  
マックス  
スクロール  
スクロール360  
マーメイドペーカリーパートナーズ  
瀧定大阪  
小林クリエイト  
スターフライヤー  
トップツアーズ  
東芝エンジニアリング  
山形ミツミ  
アイビーシー  
シンクススクエア  
復建調査設計  
アコーディア・ゴルフ  
WOWOW  
綜研  
三星ダイヤモンド工業  
真生印刷  
桑名エンジニアリングプラスチック  
スタンダードトレード  
瑞光

大塚商会  
NTTPCコミュニケーションズ  
NTTビズリンク  
NTTスマートコネク  
NTTコミュニケーションズ  
インターネットイニシアティブ  
ソニービジネスソリューション  
カゴヤ・ジャパン  
ソフトバンクテレコム  
KDDIウェブコミュニケーションズ  
USEN  
Eストア  
京セラコミュニケーションシステム  
九州通信ネットワーク  
ラクス  
つなぐネットコミュニケーションズ  
GMOクラウドWEST  
エアネット  
ハイパーボックス  
オーエフ・テック  
グッドコミュニケーションズ  
スリーハンズ  
STNet  
サヴィス・コミュニケーションズ  
KVH  
ケーブルテレビ可児  
シー・ティー・ワイ  
UCOM  
上婦負ケーブルテレビ  
アーバンライフ  
JALインフォテック  
トヨタIT開発センター  
安川情報システム  
富士電機情報サービス  
ドワンゴ  
クレオ  
エヌアイディ  
キャンカスターサポート  
インターワークス  
ダイジョブ  
ミツエーリンクス  
ゼネック  
DTS  
エイケア・システムズ  
コンピュータムーブ

他多数  
累計1,100万アカウント以上  
(2014年9月現在)

※掲載を許可頂いた導入先のみを掲載しております。

## ■Active! gateでできること

7つのアプローチの組み合わせで、メール誤送信のさまざまなプロテクションを可能にします。  
「社外秘」「見積書」など特定のキーワードでメールを保留にするという使い方もできます。

### 宛先間違いの阻止

- 外部の宛先がある場合は保留
- 多くの内部宛アドレスの中に外部宛アドレスが混入している場合は保留
- 初めて送るアドレス(送信履歴のないアドレス)は保留

### 大量の宛先への一斉配信の阻止

- 特定数以上の宛先へのメールの保留
- Bccではなく、To、Ccに大量にアドレスがある場合は保留
- To、Ccに大量のアドレスがある場合はBccに強制変換

### 添付ファイルの漏えいの阻止

- 自動的にファイル暗号化して送信
- ファイルの2回暗号化でファイル名を隠すことも可能
- メール本文と添付ファイルを分離して別途ダウンロード
- ファイル名や拡張子などで添付ファイル付きの送信メールを保留
- 誤ったファイルの添付を阻止(添付ファイルレビュー機能)

### 個人情報の漏えいの阻止

- 住所や電話番号などの個人情報を検知して保留
- 添付ファイルがある場合は保留(xls.など拡張子による判別も可能)
- 「履歴書」「タイムシート」などの設定したキーワードを検知して保留
- Bccではなく、To、Ccに大量にアドレスがある場合は保留

### うっかりミスの阻止

- 社内、準社内(グループ会社など)と社外の時間差配信が可能
- 上司承認(オプション)を利用して上長が外部宛のメール内容を確認
- 宛名の敬称忘れを検知して保留
- ファイルの添付忘れを検知して保留
- URLや接続できないURLがある場合は保留

### ウイルスメール送信の阻止

- 「Kaspersky Anti-Virus」を実装可能(オプション)

## ■システム要件

### ハードウェア要件

#### CPU

- ・Intel DualCore、QuadCore
- または同等のプロセッサ以上

#### メモリ

- ・2GB以上
- (推奨8GB以上)

#### HDD

- ・10GB以上

### ソフトウェア要件

#### 製品名 / バージョン

- ・Red Hat Enterprise Linux EL 5
- ・Red Hat Enterprise Linux EL 6
- ・Scientific Linux 6
- ※OS が 64bit 版の場合でも 32bit で動作します。32bit 版のライブラリをインストールしてご利用ください。

#### 対応仮想化環境

- ・VMware vSphere
- ・OpenVZ
- ・Parallels Virtuozzo Containers
- ・KVM

### 管理者およびパーソナルコントローラー、ファイルダウンロードセンター用 Web インターフェース対応ブラウザ

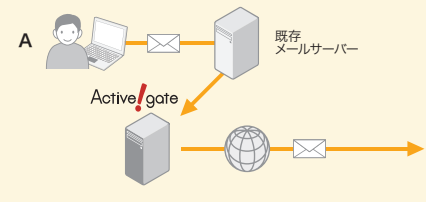
- ・Microsoft Internet Explorer WindowsOSのみサポート対応ブラウザ\*1
- ・ex) Mozilla Firefox WindowsOSおよびMacOS共にサポート対応ブラウザ\*1
- ・Google Chrome WindowsOSおよびMacOS共にサポート対応ブラウザ\*1
- ・Safari MacOSのみサポート対応ブラウザ\*1

\*1 ブラウザーのバージョンについては、Active! gateの各バージョンをリリースする時点においての最新バージョンのブラウザでのみ動作確認をしております。

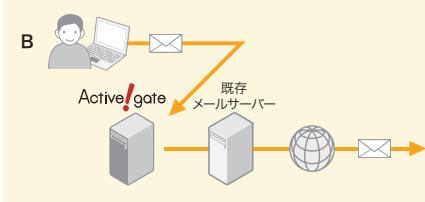
動作環境の詳細最新状況については、右記URLをご参照ください。 <http://www.transware.co.jp/product/ag/spec.html>

## ■システム構成図

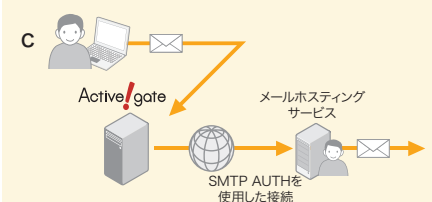
### ■構成例1：社内メールサーバーの後段



### ■構成例2：社内メールサーバーの前段



### ■構成例3：ホスティング環境

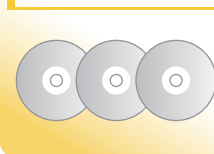


## ■ラインナップ

### 3つの導入形態から選べる！Active! gateのラインナップ

Active! gateは、ソフトウェア、アプライアンス、クラウド(Active! gate SS)の3つの導入形態をご用意。お客様の既存のメール環境や導入規模、ご利用方法、トータルコストなどの観点から、最適なものをお選びいただけます。もちろんどれを選択しても専門知識は不要で、導入や運用に大きな負担はありません。

#### ソフトウェア



#### アプライアンス



#### クラウド



## ■アンチウイルスソフトと連携

「Kaspersky Anti-Virus」をオプションで実装可能(有償)。誤送信防止機能とウイルスフィルター機能を連携させることで、送信メールのウイルスを自動的にチェックできます。ウイルスチェック用の専用サーバーを設ける必要がないため、大幅なコスト削減を実現します。



株式会社クオリティア (QUALITIA CO., LTD.)

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-11-10

TEL : 03-5623-2530 FAX : 03-5623-2535

URL : <http://www.qualitia.co.jp>

Email : [active@qualitia.co.jp](mailto:active@qualitia.co.jp)

お問い合わせ

## メール誤送信防止

# Active! gate

メール経由の「情報漏えい」と「うっかりミス」を確実に阻止  
7つのアプローチを搭載したメール誤送信防止ソリューション



### 安全性

7つの多面的なアプローチで誤送信を徹底防止

### 運用性

管理負荷の軽減とユーザーの利便性を向上

### 柔軟性

メールソフトやサーバーの設置場所に依存しない

## “うっかりミス”によるメール経由の情報漏えいを徹底排除！ 7つの誤送信防止アプローチをすべて搭載

メール誤送信による情報漏えいは後を絶ちません。宛先違いや誤った添付ファイルの送付など、たとえ“うっかりミス”でも企業の存続性に関わる問題になり得ます。メール送信時の「宛先の指定」「メール本文の作成」「ファイルの添付」はすべて人的な作業。システムで自動的に対処しない限り、うっかりミスを完全に防ぐことはできません。

Active! gateはメールや添付ファイル経由の情報漏えいを確実に防ぐメール誤送信防止ソリューションです。局所的なアプローチでは防ぐことが難しい誤送信を、7つの多面的なアプローチにより防止します。さらに、管理者やユーザーによるきめ細かいポリシー設定により「セキュリティレベルの向上」と「利便性の向上」を両立させることができます。



「だから、Active!gate が選ばれています！」

### 安全性 7つの多面的なアプローチで誤送信を徹底防止

#### 7つのアプローチで「情報漏えい」と「うっかりミス」を確実に防ぐ

メール誤送信と一口に言っても、単純な宛先間違いからファイルの添付ミス、機密情報の漏えいなど、その内容はさまざま。Active! gateは、お客様の目的や状況に応じ、7つのアプローチを効果的に組み合わせることで、多面的にメール誤送信を防止します。

|                  | Active!gate | A社製品 | B社製品 | C社製品 |
|------------------|-------------|------|------|------|
| 送信メールの一時保留       | ○           | ○    | ○    | ○    |
| 添付ファイルの暗号化       | ○           | ○    | ○    | ○    |
| 添付ファイルのWebダウンロード | ○           | ×    | ×    | ○    |
| Bcc強制変換          | ○           | ×    | ○    | ○    |
| 送信拒否             | ○           | ○    | ×    | ×    |
| 時間差配信            | ○           | ×    | ×    | ×    |
| 上司承認             | ○(オプション)    | ○    | ○    | ×    |

### 運用性 管理負荷の軽減とユーザーの利便性を向上

#### 段階的なポリシー設定で柔軟な運用を実現

管理者は、必要に応じて管理者/グループ/ユーザーごとに段階的なポリシーが設定できます。特定のグループだけポリシーを厳しく設定したり、重要度の高いポリシーは管理者が設定し、そのほかはユーザーに任せるなど、管理者の負担を減らした柔軟な運用が可能になります。

#### ユーザー個人ごとのポリシー設定で利便性を向上

ユーザーは個人ごとに用意された「パーソナルコントローラー」画面にて、管理者に許可された項目を任意に設定することができます。ユーザー自身で臨機応変に設定することができ、たとえば「添付ファイルがある場合は保留にする」「外部ドメインは保留にする」など、それぞれのユーザーに合せた使いやすい設定にすることができます。

### 柔軟性 メールソフトやサーバーの設置場所に依存しない

#### 既存のメール環境に応じた構成が可能

メールの送信経路に設置するだけで、すぐに導入できます。メールサーバーの種類や設置場所に依存しないため、自社内設置のメールサーバー環境はもちろん、Google AppsなどのメールホスティングやフリーのWebメールまで、既存メール環境や使用方法に応じた柔軟な構成が可能です。



## 7つの誤送信防止アプローチ

- 1 送信メールの一時保留** 管理者またはユーザーが任意に設定した条件によって、メールを一定期間保留できます。保留されたメールはユーザー自身で確認し、「配送」「破棄」の選択をすることができます。
- 2 添付ファイルの暗号化** 添付ファイルをパスワード付きのファイルに自動変換できます。他社にはない“2回にわたるファイル暗号化”実行により、ファイル名の漏えいも防ぐことができます。
- 3 添付ファイルのWebダウンロード** 管理者またはユーザーが設定した条件によって、添付ファイルを分離してメール本文のみを送信します。分離された添付ファイルは、別途パスワードを使用しWebからダウンロードすることができます。
- 4 Bcc 強制変換** 「To」や「Cc」に外部宛ての大量メールアドレスを誤って指定した場合、「Bcc」に強制的に変換できます。これにより、個人情報の漏えいを防ぐことができます。
- 5 送信拒否** 時間帯や送信者、キーワードなど管理者の設定した条件により、メールの送信自体を拒否します。送信拒否をした場合、送信者にそれを通知するメールを送ることができます。
- 6 時間差配信** 社内、準社内(グループ会社などを設定可能)、社外などドメインごとに時間差で配信することができます。まず社内にメールを送り、社外宛には後から送るという設定にすることで、送信者が気づかなかった“うっかりミス”を阻止できます。
- 7 上司承認(オプション)** 上司など承認者の許可を得たメールのみ送信することができる機能です。一時的な離席、長期出張など承認者の状況に応じて、代わりに承認する代理者を柔軟に設定できる機能を装備しています。

### 便利な機能

#### 条件にあわせてCc/Bccへのアドレス自動挿入が可能

「Cc/Bcc自動追加」機能では、指定したアドレス(上司のアドレスなど)をCc又はBccに自動で挿入し、メールを送信することができます。「件名」「添付ファイル」「日付・時間」など目的に合わせて柔軟に条件を設定できます。また、ポリシーを適用する宛先も、社内/社外や特定のメールアドレスなどで設定が可能です。



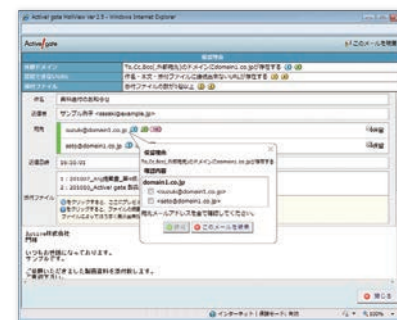
#### 2回の暗号化により添付ファイル名の漏えいを防止

「添付ファイルの暗号化」機能では、Active! gate 個々のファイル名がで暗号化したファイルを更にZIP暗号化することができます。添付ファイルの暗号化のみでは復号化の際、添付した個々のファイル名は表示されてしまいます。しかし、暗号化したファイルを更にZIP暗号化(2回暗号化)することで復号化の際にパスワード保護されたランダムなファイル名のファイルが解凍され、パスワードを知らない第三者への添付ファイル名の漏えいを防ぐことができます。



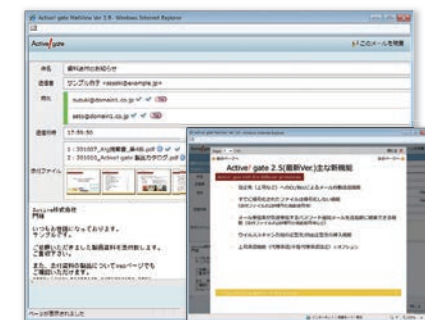
### ほかに類を見ない優れた操作性

#### ■確認内容のチェック



保留確認画面を開くと確認内容をチェックするバルーンが自動で表示されます。自動で表示された内容を確認するだけで、配送・破棄の処理を簡単に行なうことができます。

#### ■添付ファイルプレビュー



保留確認画面で添付ファイルのプレビューを表示できます。この機能により添付ファイルを開かず内容を確認することができます。

#### ■添付ファイルの設定



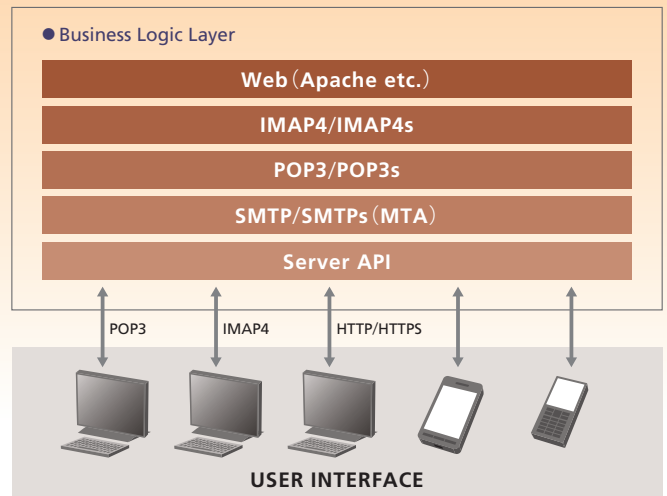
添付ファイルの送信方法の設定、配信時間の設定、宛先の「Bcc」変換の設定などを確認し、設定することができます。

# DEEPMail

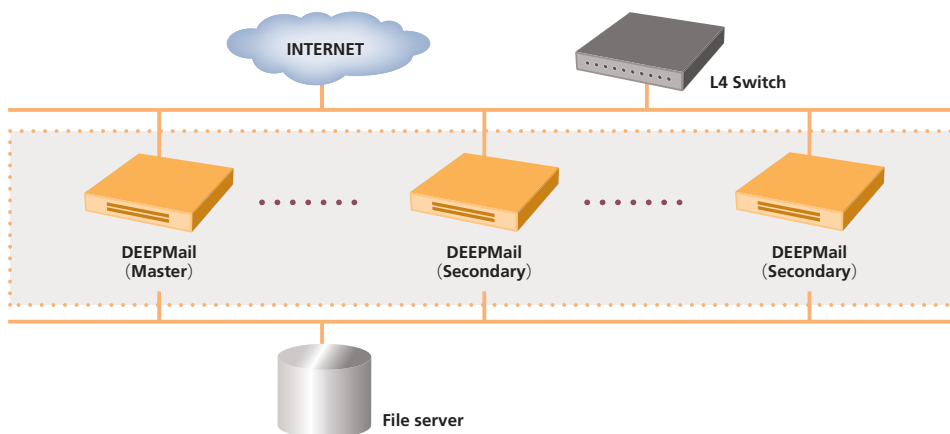
Leading #1 Advanced eMail Solution & anti-spam technology

## 大規模カスタマイズド Messagingソリューション

独自開発の高速メールエンジンと多彩なWebメール機能を搭載したシンプルメッセージングソリューションです。RFC準拠のSMTPデーモンは他社製のMTAとも連携可能で、お客様のご要望に合わせて様々な環境への導入、既存サービスとの連携など、柔軟にカスタマイズして最適なメッセージングソリューションを提供します。



### DEEPMailの冗長構成例



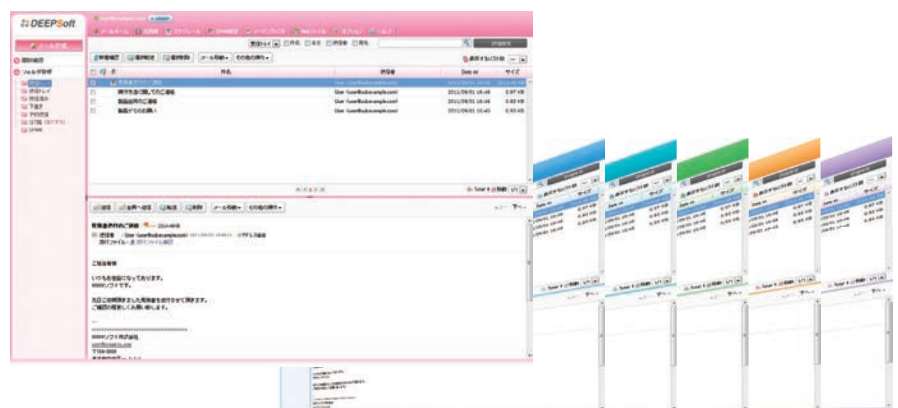
- 囲まれたそれぞれのサーバは Active-Activeのマルチサーバ構成
- マルチサーバ間では、1台をマスタ、その他をセカンダリとして、マスタに対して実施した設定変更内容は自動的にセカンダリへ同期 (syncer機能)
- syncerは、1分間隔で常時作動
- ユーザがどのサーバにアクセスしても、情報は共有ストレージに格納されるため、一部のサーバに障害が発生した場合でもサービスの継続が可能
- 共有ストレージには、ファイルロック処理が動作するファイルシステムが必要

### DEEPMail Webメール主要機能

- **住所録**
  - ・個人住所録 ・共有住所録 ・LDAP住所録
- **Ajax対応**
  - ・ドラッグ&ドロップによるフォルダ移動
  - ・右クリック操作
- **メールのインポート/エクスポート**
  - ・複数選択し、emlファイルとしてzip化
  - ・フォルダごとにzip化
- **メール自動振り分け機能**
- **Webファイル**
  - ・パスワード設定 ・ダウンロード期限の設定
  - ・ダウンロード回数設定
- **ユーザエイリアス**
  - ・常時一つのみ任意のAliasIDを取得
  - ・重複確認機能 ・管理者による不許可文字列設定可
- **署名/挨拶文**
- **自動転送設定**
  - ・オリジナルヘッダによるルール設定可
  - ・サイズ制限設定

- **スケジュール**
  - ・個人スケジュール ・共有スケジュール
- **送信者情報変更機能**
  - ・任意のアドレスを事前に複数設定可
  - ・メール送信時にFromアドレスとして選択
- **モバイル機能**
  - ・着信通知/自動ログイン機能 ・QRコード対応

- **自動応答機能**
- **新着通知**
  - ・ポップアップブロックによる制約なし
  - ・チェック間隔(分単位)設定可 ・管理者による最小間隔設定可
- **メール作成**
  - ・予約送信 ・アドレス入力補完機能
  - ・送信済みアドレス履歴からの簡易入力



## ■DEEPMail主要機能

### ●SMTP

- ・SMTP Auth ・POP/IMAP before SMTP
- ・Submission port(587) ・不正リレー防止
- ・静的配送機能
- ・Gatewayサーバ機能  
(Local to Localのメールを対象にした静的配送機能)
- ・AlwaysBcc ・バナー設定(固定署名)
- ・アンチウイルス機能(有償オプション)

### ●POP3/IMAP4

- ・同時接続数制限 ・接続タイムアウト値
- ・APOP/CRAM-MD5/DIGEST-MD5認証対応

### ●Webメール(別項目参照)

### ●LDAP(s)対応

### ●Quotaメール設定

- ・容量超過時の警告メール
- ・容量超過前の注意喚起メール

### ●マルチドメイン対応

- ・ドメイン別管理者指定

### ●休眠アカウント機能

### ●暗号化通信

- ・Over SSL ・STARTTLS

### ●メーリングリスト(別項目参照)

### ●多言語対応

- ・日本語、英語、韓国語、中国語(簡体)
- ・Webインターフェイス及びオンラインヘルプ

### ●メール自動削除機能

- ・フォルダごとに削除期限を指定
- ・未読は削除しない設定可

## ■メーリングリスト主要機能

### ●ML機能一覧

- ・メンバー編集 ・投稿権限設定
- ・モデレート機能 ・シーケンス番号設定
- ・アーカイブ設定 ・Reply-Toの設定
- ・ML追加・削除への申請&承認機能

### ●システム管理者権限

- ・GUI&CLIによるML個別／一括追加
- ・GUI&CLIによるメンバー 個別／一括追加
- ・ユーザからのML追加／削除の承認
- ・メンバー数制限 ・アーカイブ容量

### ●ML管理者機能

- ・メンバーの追加・削除
- ・投稿許可／拒否リストの編集
- ・シーケンス番号設定 ・ML管理者の引継ぎ



### ●ユーザ機能

- ・アーカイブされているメールの検索・表示・取得
- ・MLの新規作成(管理者の承認を得る設定可)
- ・外部ドメインユーザ向け専用GUI



## ■DEEPMailの管理者機能

### ●アカウント管理

- ・グループの登録・編集・削除
- ・グループ／ユーザ毎にQuota値、送受信メールサイズ、送受信添付サイズの指定管理
- ・ドメイン／グループ／ユーザ毎にサービス許可設定(POP3/IMAP4/Webメール/モバイル)
- ・ユーザの一括登録(CSV形式)及び個別登録
- ・パスワード、所属グループ、使用状態等の変更
- ・ユーザのメール環境を確認・変更
- ・メール転送、モバイル、自動振り分け、自動応答
- ・登録設定(ユーザのメール環境の標準値を規定)

### ●メーリングリスト管理

- ・ML追加承認／拒否 ・ML管理者変更



### ●サーバ管理

- ・統計情報  
(ログイン数/送受信数を指定期間ごとに表示)
- ・キュー管理
- ・ログの閲覧とダウンロード(SMTP/POP3/IMAP4/Webメールログイン、等)
- ・リソース監視  
(CPU使用率、Memory使用量、Disk使用量)

### ●GUI設定

- ・お知らせの掲示 ・ログ設定
- ・マルチURL設定(ドメインごとにURLを個別設定)

## ■DEEPMailのシステム構築環境

### システムの構築環境

- Solaris(Sparcのみ)
- Linux  
(RedHat、SUSE等)

### 対応ブラウザ

- Windows  
Internet Explorer、Mozilla Firefox、Opera、Safari、Google Chrome

- Mac Safari、Mozilla Firefox、Opera
- Linux Mozilla Firefox、Opera

※バージョン情報については、弊社ホームページをご覧ください。

## ■製造開発元

## 株式会社クオリティア 営業本部

http://www.qualitia.co.jp  
Email:active@qualitia.co.jp

〒103-0025  
東京都中央区日本橋茅場町3-11-10  
TEL:03-5623-2530 FAX:03-5623-2535

## ■販売代理店

# 東京大学情報基盤センター

## メールシステムの運用管理工数の削減を実現 迅速且つ的確なサポートにインテグレーターも顧客も「満足」の声

東京大学情報基盤センターは、高度な情報処理を実現するための基礎的研究を行うとともに、学内外のユーザーに向けた情報基盤を開発・運用している。同センターでは、学内の情報基盤の運用効率化と利用者の利便性向上を目指し、教育用計算機システムを刷新した。メールシステムについても、クオリティアのMailSuiteを使って運用効率化と利便性向上が図られている。2012年9月より新しく運用を開始したメールシステムについて東京大学情報基盤センター情報メディア教育研究部門 客員研究員の丸山一貴氏に話を聞いた。

### 止められないメールシステム パフォーマンスや障害時の対策を考慮

東京大学情報基盤センターでは、学部の新入生全員に対して入学時に発行されるメールアドレスを提供するメールシステムと研究室や学部向けに展開しているホスティングサービス用のメールシステムを運用管理している。「以前、本学では研究室や学部などが個別にサーバーを構築し、その一環としてメールシステムも運用するのが一般的でした。当時のメールシステムの運用管理は、ある一定の知識や技術を持つ職員や学生が行っていましたが、徐々にメールシステムに対する専門性の高い人材を確保する必要性が高まってきました。その一例として、ウイルスメールによって引き起こされるセキュリティ上の懸念やスパムメールを大量に受信することによる運用上の懸念が挙げられ、個別のメールシステムの運用負荷が増大してきたことから、十年以上前より情報基盤セン

ターではそのような課題を持つ研究室や学部に対してメールホスティングサービスを提供しています」と丸山氏。

昨今メールシステムはコミュニケーションインフラとして認知されており、止めることができないシステムとしても捉えられている。そのため、同センターでは、パフォーマンスが高く、障害時も被害を最小限に抑えることができるメールシステムを常に要求してきた。



東京大学情報基盤センター  
情報メディア教育研究部門  
客員研究員

丸山 一貴 氏

### 2つのメールシステムが稼働していたため 運用管理工数が課題だった

前回のリプレースでは、全学生向けと新規のメールホスティングユーザーとなるドメインに提供されるメールシステムについてはMailSuite、継続してメールホスティングシステムを利用するドメインには引き続きアプライアンス型メールサーバーというように、それぞれの役割を分けて運用することになった。しかし、メールシステムの運用管理工数という観点から見ると、製品が異なる2つのシステム管理を余儀なくされ、煩雑な作業も増えていった。そこで、今回のリプレースでは、長年同一のメールシステムを利用してきたユーザーにはWebメールインターフェイスが変更になったり、アドレス帳の個人データなどは手動による再設定が必要になったりと移行時における負担を課してしまう代わりに、メールシステムの運用管理工数を軽減できるよう、両メールシステムを同一システムとして統合することが、大きな目標として掲げられた。

また、前々システムでも学内メールホスティングシステムとして稼働してきたアプライアンス型メールサーバーだが、いくつかの課題があった。アプライアンス型では、サービスの重要性に合わせて柔軟にメールシステムを構成することが難しく、メールサーバーとしてのメンテナンスや障害が発生した際に、長時間のサービス停止を引き起こすことがあった。また、障害発生後の対応についても、海外の開発元メーカーとのコミュニケーションを直接取ることができず、バグレポートからバグ認定、そして修正パッチのリリースまで待たなければならないことが多かった。

同センターでは、6名の常勤スタッフと3名の教員がメールシステムの運用管理を行っており、両メールシステムのユーザー

数は5万ユーザーにもものぼっていたため、限られたリソースで運用し、利用者からの要望に日々応えるには非常に重いシステムとなっていた。

## 柔軟なカスタマイズができ ユーザーが求めるメールシステムを構築

入札の結果、日本電気株式会社（以下NEC）が落札し、東京大学情報基盤センターの統合メールシステムには、クオリティアのMailSuiteが導入されることとなった。これまではMailSuiteの他、アプライアンス型サーバーと連携するWebメール用のソフトウェアやVirusメールとスパムメール対策用のソフトウェアなど、複数のメーカーの製品が稼働していたが、すべてそれらの機能もMailSuiteに統合されたため運用工数も大幅に削減される。

「これまでは、スパムメールに対する例外設定をする際も、2つのメールシステムについて設定しなければいけませんでした。複数の製品を運用していると似たような管理画面とは言え製品が異なりますので、習得すべき製品知識と実作業の工数が単純に2倍になっていました。このようにメールシステムを統合することで、運用管理工数は大幅に減ったと感じています。」（丸山氏）。

また、MailSuiteはSMTPやPOP、Webメールモジュールなどはすべて独自開発されており、そのソースコードもクオリティアが国内で所有している。そのため、何か不具合が発生した際でもすぐに同社のエンジニアが対策を行うことが可能である。外資系のベンダーの場合など、障害発生時に本国にエスカレーションを行い、その対策に数週間を要するケースも少なくない。「新システムでは、障害の連絡をして翌日には直ってるという場合もあります。また、メールシステムの振る舞いやGUI周りの相談についても、すぐに対応してもらえます。アプライアンス型に収容されていたホスティングユーザーにはシステム移行時に負担をかけてしまいましたが、メンテナンス時のサービス停止時間の削減や不具合修正期間の短縮化によって少しでも報いていきたいと思います」と丸山氏。

パッケージ製品でありながら、柔軟なカスタマイズで細かな顧客のニーズを実現することにも定評があることが同製品の特長である。今回のシステムでは、ドメイン管理者や一般ユーザーが自分自身で管理する設定情報をWebインターフェイスからバックアップ及びリストアできる機能も要求仕様として求められていたが、カスタマイズで実現したこともその一例である。顧客が求める独自の仕様にも応えられるメールシステムを構築するには、このような柔軟なカスタマイズの体制がなければ、実現することは難しい。

## システムインテグレータにとっても クオリティアのサポートは魅力

「クオリティアのメールシステムは東京大学情報基盤センター様のように数万ユーザーを超える大規模システムの運用に耐えられる数少ないソリューションの1つです。細かなニーズにもカスタマイズで対応してもらえるので、お客様の様々な要求に答えられる提案ができるのもメリットです。」とNEC 文教・科学ソリューション事業部 主任の上野氏は語る。

今回のメールシステムのリプレイスでは、運用管理工数の削減が重視されていたが、別のシステムとして稼働していたメーリングリスト機能の統合や、SAMLを利用したシングルサインオン連携、前システムからのデータ移行などを実現するために、インテグレーターであるNEC主導のもと技術的な打ち合わせや事前検証作業を何度も繰り返す必要があった。「また、素早いサポート力がなによりもありがたいですね。構築の時の的確にサポートしていただけたし、導入前のお打ち合わせや検証作業で持ち帰ったお客様からのお問い合わせに迅速に回答できる安心感をシステムインテグレーターとして感じるが多かったです」（上野氏）。

クオリティアのメールソリューションは利用者、管理者、システムインテグレーターそれぞれにメリットがある。日々増大するメールに関する課題や要望を細かく拾うことで、同社のソリューションは今後も成長を続けていくことができると言える。

### 顧客名

- 東京大学情報基盤センター

### 導入システム

- クオリティア製  
MailSuite 66,000ユーザ

### 導入効果

- 分散していたメールシステムを統合することにより運用管理工数を削減
- 冗長構成によりメンテナンス時や障害時のダウンタイムを短縮
- ドメイン管理者や一般ユーザがWebインターフェイスからバックアップ及びリストアできる機能をカスタマイズで実現



## 海外からの不正アクセスを防ぐ「国別IP制限機能」で不正アクセスを防止へ

宮崎大学では、学内に点在する情報システムを集約・統合化の取り組みをいち早く実施しており、仮想サーバーの導入やハウジング、ホスティングサービスを学内利用者に提供している。その中核となって活動するのが情報基盤センター。同センターの皆さんにメールシステムについてお話を伺った。

システムのシンプル化のため  
パッケージソフトを採用

宮崎大学のメールシステムは、既存の統合メールソリューションを導入し、情報基盤センターが管理・運用している。以前は、ほとんどのシステムを自分たちで構築・運用していたという。その頃は、なにか問題があれば、すべて自分たちで手を動かして解決してきたとのことだ。

しかし、集約・統合化を進める中で管理対象のシステムが増え規模が大きくなり、さらにサイバー攻撃などに対するセキュリティ対策や利便性の向上を考慮したシステム構築を行わなければならない時代にあり、おのずとスタッフの管理・運用工数の増大が深刻な問題であった。そこで、システムのリプレースを機に、各種システムのシンプル化を実施。メールシステムについても、パッケージソフトを導入し、運用することにした。

だが、このリプレースによって、新たな課題が生まれることになった。障害時にすぐに対応したくても、自分たちだけではどうにもならず、パッケージベンダーのサポートを頼るしかないことから、どうしてもタイムロスが発生してしまうという課題だ。

「以前導入していたパッケージベンダーは、正直言ってサポート力に問題がありました。障害が発生した際、状況を伝えても対応が遅く、ロードマップの提示すらありません。当校の利用者に状況を説明することすらできず、本当に困っていました。この経験から学んだことは、パッケージを導入する際、ソフトウェアの機能はもちろん、サポートも重視すべきだということです」と情報基盤センター副センター長の青木謙二氏は当時を振り返る。

その反省を生かしながら、新たに導入したメールシステムが、クオリアティア(旧ディープソフト)のDEEPMailである。



情報基盤センター 副センター長  
准教授  
青木 謙二氏

DEEPMailは、カスタマイズ性が高く、従来スクラッチ開発でないと対応できないような要望にも応えることができるソリューションだ。「ユーザーの課題はどこなのか」、「システムとしてどう解決できるのか」という提案に加え、障害発生時にはクオリアティアのエンジニアが迅速に対応する。

さらに、SMTPやPOP3、Webモジュールなどすべて自社開発のため、システムに近い深い部分の障害

であっても、クオリアティアのエンジニアが対応するので、ユーザーにとって心強い存在といえるだろう。その結果、導入実績が拡大し、現在は、文教、金融機関、公共など2,000万アカウントを超える構築経験を誇る。この豊富な経験から、複雑なシステムをシンプル化していきたいという宮崎大学の要件にも対応できるメールシステムが構築できたのだ。

「DEEPMailを導入した時期は、宮崎大学統一認証ID(MID)の運用を開始した頃。MIDを使って学内の情報システムにログインする方針としたため、セキュリティ面での安全性を考慮し、ログインID(MID)とメールアドレスを分けて運用することにしました。また、特例扱いのメールアドレス等もあり、IDとメールアドレスの管理が複雑な状況だったと思いますが、クオリアティアさんのご協力により、無事に構築することができました」と語るのは、情報基盤センターセンター長の甘日出勇氏。



情報基盤センター センター長  
工学部情報システム工学科 教授  
甘日出 勇氏

## 顧客名

- 宮崎大学

## 導入システム

- クオリアティア製:  
DEEPMail  
10,000ユーザー

## 導入効果

- 複雑な顧客要望を柔軟なカスタマイズで実現
- 複数の「認証ポリシー」の導入でセキュリティ性向上
- 充実したサポートで安心できるシステム運用を実現



## キーワードは「セキュリティ」 国別IP制限機能で不正アクセスを撲滅へ



情報図書部情報企画課  
情報企画係  
(情報基盤センター担当)  
技術専門職員

園田 誠 氏



情報図書部情報企画課  
情報企画係基盤担当  
(情報基盤センター担当)

黒木 亘 氏

そして、2015年に再びメールのリブレースの時期が訪れた。今回のリブレースのポイントは、「セキュリティ」であった。

「実は、数年前から何度かユーザーのIDとパスワードが漏えいし、大量のスパムメールが送信されてしまうことがありました。今回のリブレースでは、ぜひそういった事故をシステム側で防ぎたいと考えました」と情報基盤センターの園田氏は話す。

スパムメールの踏み台にされてしまい、相手方の「ブラックリスト」に登録されてしまうと同一製品を使用している他サイトへも正常なメールが送信できなくなる。それによって、大学の運営に大きな影響が出るがあった。例えば、教授が出したメールが受け取り拒否されてしまうと、他大学との共同研究に大きな支障が出る。それを解決するには、ブラックリストに登録したサービスプロバイダやセキュリティベンダーなどに連絡を取り、解除を依頼していく作業が必要になる。「この対応には、何日もかかることがありました。最近では、ブラックリストを個々のシステム側で持つことも増えていますし、情報漏えい事故として、関係省庁などに連絡する必要があります。もし今、同じことが起きたとしたら、もっと時間と工数がかかるはず。もう二度とそんなことにならないように、セキュリティを高めておく必要があります」と、情報基盤センターの黒木亘氏は言う。

宮崎大学は、セキュリティ対策を強化するために、DEEPMailの新機能「国別IP制限機能」に着目。この機能は、システムにアクセスしてくるIPアドレスを解析し、指定した国からのアクセス以外は排除するという機能だ。OSへのSSHアクセスなどではすでに実装されているサービスもあるので、目新しいロジックではないが、システム一意ではなくユーザー個人で許可国を指定できることやWebメール、SMTP-Auth、POP、IMAPのログイン

## 各システムとの連携を密に Shibboleth認証も視野に

今後、宮崎大学ではShibboleth認証基盤を構築し、シングルサインオンを実現していこうと考えており、DEEPMailはShibboleth認証での事例も多いので、クオリティアからの情報提供を受けつつ、安心・安全な認証基盤を構築していくポテンシャルは十分と言える。

宮崎大学は、今回のリブレースで、シンプルでセキュリティ性の高いシス

テムに制御するという点ではかなりユニークだといえる。

「この機能を使い、国内からのアクセスのみに制限することができれば、スパマーの脅威はかなりの部分を排除することができます。ここで心配されるのは、海外出張先からのアクセスに不都合が出るのではないかといいことですが、その場合はユーザーがその国を登録すれば、アクセスできるようになります」(園田氏)

これは使えると直感した園田氏は、メールシステムにおける国別IP制限機能を要件に追加。その結果、宮崎大学には再びDEEPMailが導入されることになったという。

現在、国別IP制限機能の設定で、初期設定として「日本」と「米国」を許可し、その他の国については、ユーザーが都度選択できるようにしているとのこと。

「新しい機能についてはマニュアルを作成したほか、説明会を行った事で、海外からメールシステムにアクセスできないという問い合わせはありません。運用も軌道に乗っています」と情報基盤センターの川畑圭一郎氏は話す。



情報図書部情報企画課  
情報企画係  
(情報基盤センター担当)

川畑 圭一郎 氏



【管理者設定画面】



【個人設定画面】

テムを構築した。メールに関しても、同校のニーズが反映されたことはもちろん、サポート品質の高さでも非常に満足している。

メールは、コミュニケーションツールとして欠かせないものになっているが、セキュリティを向上させ、ユーザーからの評判も保持するには、同校のメールシステムを支えるクオリティアへの期待もそれだけに大きいといえそう。